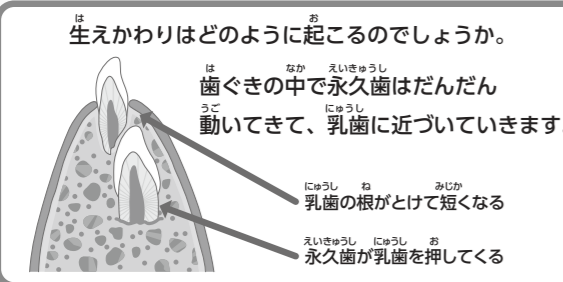


歯の生えかわりは成長のしるし!



体の成長にあわせて乳歯から永久歯に生えかわります。永久歯は年をとっても一生使い続けます。むし歯や歯肉炎にならないように、大切にしましょう。

一般社団法人 富山県歯科医師会 TOYAMA DENTAL ASSOCIATION 〒930-0887 富山市五福字五味原2741番2 TEL(076)432-4466 URL www.tda8020.com

2019.4

生えかわりの時期に注意すること

1. 生えたての歯の疾患予防を積極的に行いましょう
生えたての歯の表面は未成熟のため汚れが付きやすだけでなく、酸に溶けやすいため、むし歯になりやすい状態にあります。
2. 乳歯のむし歯もきちんと治療しましょう
永久歯は乳歯の下で成長しています。いずれ永久歯に生えかわるからといって乳歯のむし歯を放置すると、その後生えてくる永久歯の歯の質や歯並びに悪い影響を及ぼします。
3. 口の中を観察しましょう
永久歯が生えてきても、乳歯が抜けなかったり、歯肉炎が起きたりしていることがよくあります。日頃から口の中をよく観察して、何か問題に気づいたら学校歯科医、かかりつけ歯科医院に相談しましょう。
4. その時の個人にあった歯みがきをしましょう
萌出途中の歯は、内側から生えてくる歯や高さが低いことがあり、歯ブラシを横から入れたり斜めから入れたり工夫が必要です。

指導者向け解説書

歯の生えかわりを勉強しよう

歯の生えかわりを勉強しよう



さて、人間はどうでしょうか?



人間は乳歯と永久歯の二世代の歯を持つ二生歯性という性質を持っています。二生歯性は一度しか生えかわらず、また永久歯が抜けてしまえば二度と再生はできません。その代わり、長年強い力に耐えることができるよう、歯の根が顎の骨に埋まっています。また、歯と骨の間には咬合の衝撃を吸収する歯根膜があり、これがクッションのような役割を果たします。

そして、リスやハムスターのように一度も生えかわらない一生歯性や、サメのように何度も生えかわる多生歯性の動物もいます。多生歯性は、一生のうち何度も歯が生えかわります。多生歯性の歯に根はなく、顎骨に直接結合しているため、獲物に噛み付いた際などにすぐに折れてしまいます。また一定期間経過すると自然に折れてしましますが、すぐに新たな歯が生えてきます。多生歯性の動物の多くが同型歯性でもあり、すべて同じ形(円錐形)の歯をしています。

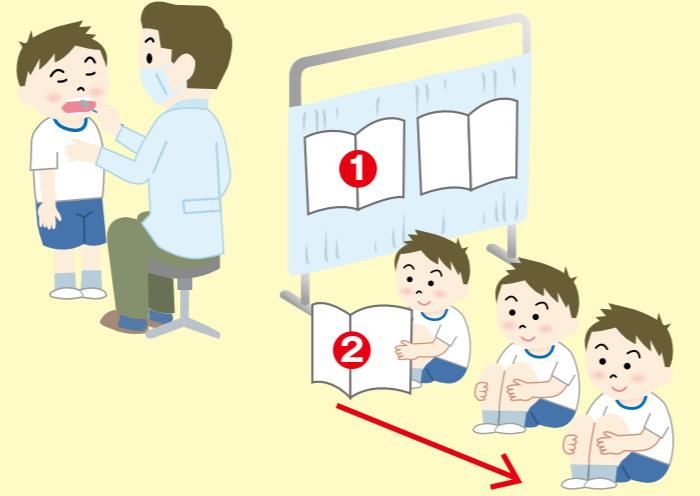
一方、人間の歯は異形歯性といい、切歯や臼歯など複数の形の異なる歯を持ちます。発音を助ける、物をかみ切る、引き裂く、かみ砕く、噛み応えを楽しみ、味覚を豊かに保つ、顔の形を整え、美しい表情をつくるなど生きていく上で重要な役割を歯はもっています。

その大切な歯はいつから顎の骨の中でつくられていくかというと、乳歯のもとになる歯胚(しはい)はすでに妊娠7~10週目につくられます。永久歯の中で最も早く生えてくる第一大臼歯や前歯も妊娠3~5ヶ月頃に歯胚ができ、時間をかけて成長していきます。生えかわりが始まる6歳頃には、顎の中で生える準備をしています。

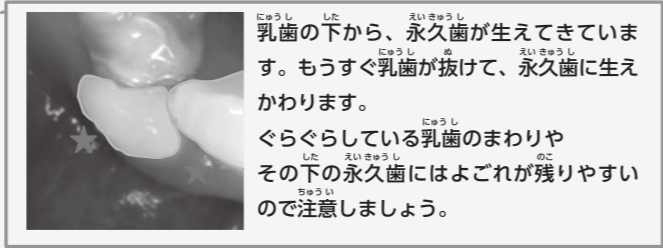
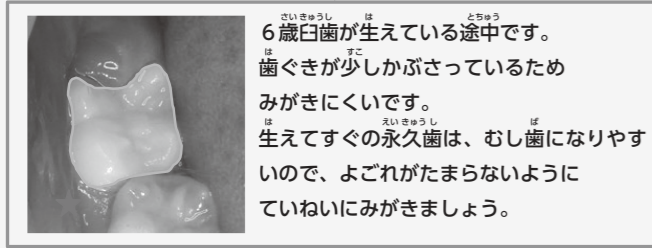
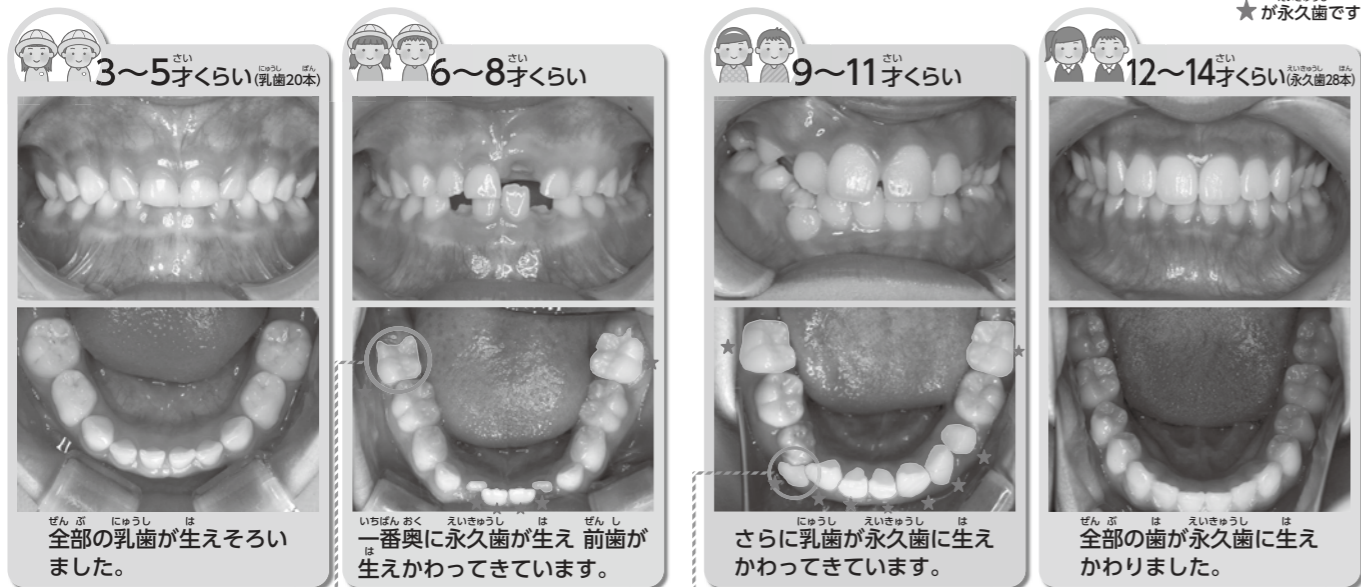
パンフレット活用例(健診時)

- ① 歯立や壁等に掲示して子どもたちに見てもらってください。
- ② 順番を待っている子どもたちに回覧してあげてください。

富山県歯科医師会ホームページより、パネルのPDFデータがダウンロードできます。より拡大したものを掲示したい場合、複数部必要な場合などは、プリントアウトしてご利用下さい。また、各種学校保健活動にもご活用いただければ幸いです。

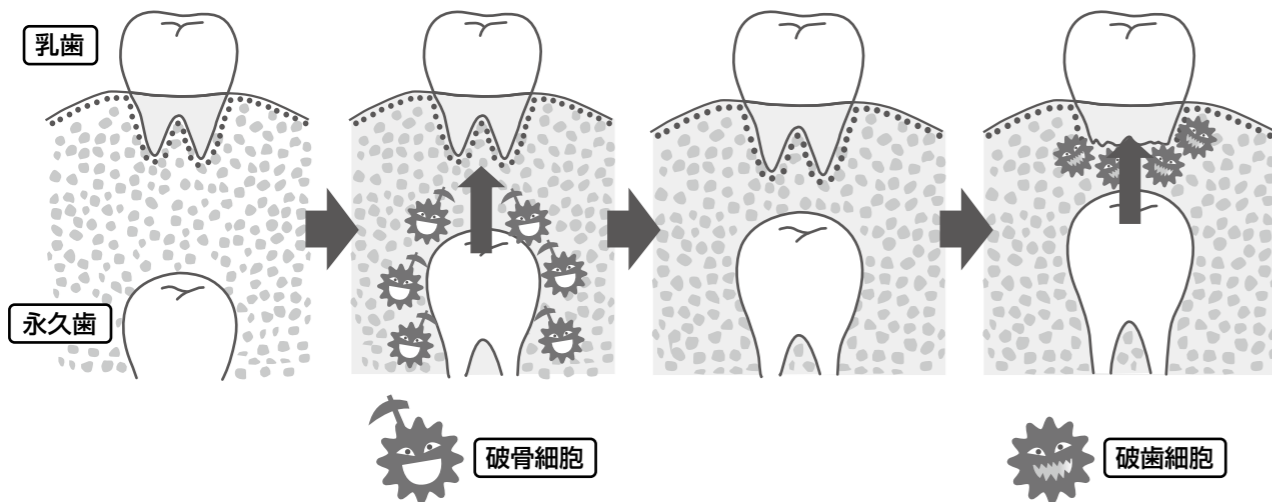


みんなのお口の中の乳歯(こどもの歯)と永久歯(おとなの歯)は？



永久歯へ生えかわる仕組み

- 顎の中(乳歯の下)で永久歯のもとになる歯胚ができ、時間をかけて成長していきます。
- 永久歯の歯冠部が完成し、歯の根の部分が作られ始めると、骨を溶かす細胞(破骨細胞)、乳歯の根を溶かす細胞(破歯細胞)が現れ、永久歯の上にある乳歯の根は少しずつ溶かされていきます。
- 乳歯の根が溶けていくと、乳歯はグラグラになり抜け落ち、永久歯が顔を出します。

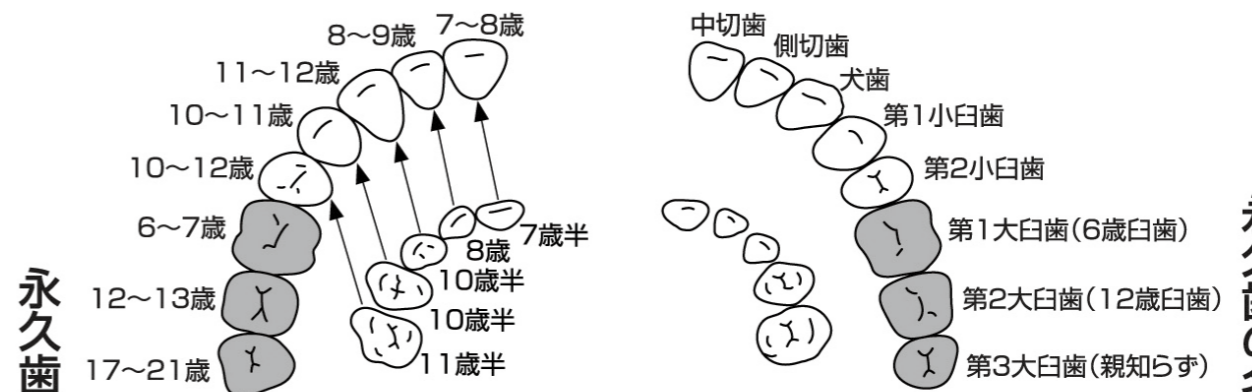


身体の成長とともに顎も成長し、6歳頃から12歳頃にかけて「乳歯」から「永久歯」へ生えかわります。生えはじめたばかりの歯は未完成で、やわらかく酸に溶けやすいため、簡単にむし歯になってしまいます。

歯の根が完成するまでには、生えてから2～3年かかります。永久歯が生えそろうと、かむ力が強くなり、いろいろな食べ物を上手に食べられるようになります。

第3大臼歯(親知らず)は生えない人もいますが、17～21歳と最も遅く生えてきます。

生えかわり時期



永久歯の名称(乳歯・永久歯)

資料提供 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所

乳歯はいずれ永久歯へと生えかわりますが、乳歯のむし歯などの問題を放置してもよいことにはなりません。乳歯にむし歯が多いと、同じ口腔内に生えてくる永久歯もすぐにむし歯になってしまいます。また、永久歯の成長が遅れるというデータもあります。

乳歯のむし歯予防は、生涯にとって歯の健康の基本なのです。